

社団法人 日本透析医会通常総会資料

社団法人 日本透析医会通常総会資料

日 時 平成 10 年 5 月 17 日(日)午後 2 時

場 所 (社)日本透析医会・会議室 (3 階)

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 議事録著名人選任

5. 議 事

第 1 号議案 平成 9 年度事業報告及び収支
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 10 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 その他

6. 閉 会

第 1 号議案 平成 9 年度 事業報告書

I. 会 議

1. 総 会

平成 9 年度通常総会

平成 9 年 5 月 18 日

第 1 号議案 平成 8 年度事業報告及び収支
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 9 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

2. 理事会

平成 9 年 5 月 18 日 協議事項

1. 平成 9 年度通常総会提出議案について

第 1 号議案 平成 8 年度事業報告及び収支

決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 9 年度事業計画及び予算
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

1. 入会金の減額についての承認
を求める件

2. 顧問の就任についての承認
を求める件

2. その他議案について

1. 医療保険制度の改正について

2. 臓器移植法案に対する今後の対応につ
いて

報告事項

1. 会員の入・退会者について

2. その他

平成 10 年 3 月 20 日

(理事会及び適正透析普及委員会の共同開催)

平成 10 年度診療報酬改定に関する説明会
を開催

講師 厚生省保険局医療課医療指導監査室
厚生技官 山 本 要

3. 常務理事会

平成 9 年 4 月 19 日 協議事項

(臨 時)

1. 平成 9 年度通常総会の開催について

(1) 平成 8 年度事業報告及び収支決算に
ついて

(2) 平成 9 年度事業計画及び予算につ
いて

(3) 新役員について

(4) その他

2. 医会創立10周年記念事業について
3. 医会の今後検討すべき問題について
4. 全腎協全国大会の後援名義使用の依頼について

5. その他

報告事項

1. 学会等の助成について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について
4. その他

平成9年5月18日 協議事項

1. 平成9年度通常総会の開催について
 - (1) 平成8年度事業報告及び収支決算について
 - (2) 平成9年度事業計画及び予算について
 - (3) 新役員について
 - (4) その他
2. 本会の今後検討すべき問題について
3. 医会創立10周年記念事業について
4. 臓器移植法案に対する今後の対応について
5. 医療保険制度の改正について
6. その他

報告事項

1. 会員の入・退会者について
2. その他

平成9年6月21日 協議事項

(臨時)

1. 平成9年度各委員会の委員長及び当理事の選任について
2. 医会の今後検討すべき問題について
3. その他

報告事項

1. 臓器移植法成立について（通知）
2. 会員の入・退会者について
3. その他

平成9年7月26日 協議事項

1. 透析医療費の実態調査について
2. 委員会委員長の変更依頼について
3. (社)日本腎臓移植ネットワークへの年会費（社員）の納入について
4. 全腎協主催講演会の後援名義使用の依頼について
5. 創立10周年記念シンポジウムについて
6. その他

報告事項

1. 調査関係事項照会書について
2. 理事変更登記の完了について
3. 平成8年度事業計画書等厚生省提出について
4. 特定公益増進法人申請書厚生省提出について
5. 会費納入状況について
6. 会員の入・退会者について
7. その他

平成9年8月30日 協議事項

(臨時)

1. 透析医療費の実態調査について
2. 創立10周年記念シンポジウムについて
3. 透析患者解雇裁判への支援要請について（全腎協からの依頼）
4. 複十字シール運動について
〔(財)結核予防会からの依頼〕
5. その他

報告事項

1. 特定公益増進法人の更新について
2. 会費納入状況について
3. 会員の入・退会者について

4. その他

平成9年9月20日 協議事項

1. 透析医療費の実態調査結果について
2. 平成9年度腎移植推進月間及び第12回腎移植推進国民大会の実施について
3. 創立10周年記念シンポジウムについて
4. 学会(第9回日本サイコ・ネフロロジー研究会)の助成について
5. 支部(岡山県)の入会について
6. その他

報告事項

1. 会費納入状況について
2. 会員の入・退会者について
3. その他

平成9年10月11日 協議事項

(臨時)

1. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
2. 透析患者における合併症の調査について
3. 地域災害対策に関するアンケート調査について
4. その他

報告事項

1. 委員会開催報告について
 - (1) 広報委員会
 - (2) 維持透析療法委員会
2. その他

平成9年11月15日 協議事項

1. 中医協(診療報酬基本問題小委員会)に関する問題について
2. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
3. 創立10周年記念シンポジウムの開催について

4. 学会(第7回腎不全外科研究会)の助成について

5. 全腎協主催シンポジウムの後援名義使用の依頼について

6. その他

報告事項

1. その他

平成9年11月22日 協議事項

(臨時)

1. 診療報酬改定に関する要望事項の検討について
2. 中医協・総会に関する問題について
3. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
4. その他

報告事項

1. 創立10周年記念シンポジウムの開催について
2. その他

平成9年12月13日 協議事項

(臨時)

1. 診療報酬改定に関する要望書について
2. 中医協基本問題小委員会に関する問題について
3. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
4. その他

報告事項

1. 診療報酬改定に関する勉強会の開催について

日時：平成9年12月2日(火)

午後6時～午後8時

場所：(社)日本透析医会事務局会議室(3階)

講師：厚生省保険局医療課

企画官 西山 正徳

2. その他

平成10年1月17日 協議事項

1. 診療報酬改定に関する要望書について
2. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
3. 中医協に関する問題について
4. (社)日本透析医会研修セミナーの開催について
5. その他

報告事項

1. 鹿児島県透析医会防災対策について
2. その他

平成10年2月21日 協議事項

(臨時)

1. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
2. 中医協に関する問題について
3. その他

報告事項

1. 診療報酬改定に関する要望書の提出について
2. その他

平成10年3月14日 協議事項

1. 平成10年度診療報酬改定について
2. 平成10年度予算(案)について
3. 安定期慢性維持透析の保険診療マニュアルの改訂について
4. 全腎協平成10年度全国大会の後援名義使用の依頼について
5. その他

報告事項

1. (社)日本透析医会研修セミナーの開催について
2. その他

Ⅱ. 委員会

平成 9 年度委員会開催状況

(平成 9 年 4 月 1 日～平成10年 3 月31日)

| 委 員 会 | 開 催 年 月 日 |
|-------------------|--|
| 1. 適正透析療法委員会 | |
| (1) 適正透析導入委員会 | |
| (2) 維持透析療法委員会 | 平成 9 年 11月15日 平成10年 1 月17日 |
| (3) 適正透析普及委員会 | 平成10年 3 月20日 |
| (4) 透析医療経済委員会 | 平成 9 年 4 月23日 平成 9 年 5 月 6 日 平成 9 年 6 月11日 平成 9 年 8 月 6 日 平成 9 年 8 月27日 平成 9 年 9 月 6 日 平成 9 年 9 月19日 平成 9 年 9 月20日 平成 9 年 10月 1 日 平成 9 年 10月19日 平成 9 年 10月31日 平成 9 年 12月 2 日 平成 9 年 12月25日 平成10年 1 月 7 日 平成10年 1 月13日 平成10年 1 月14日 平成10年 1 月23日 平成10年 1 月26日 平成10年 3 月 4 日 |
| (5) 医療廃棄物対策委員会 | |
| (6) 在宅透析委員会 | |
| 2. 災害時救急透析医療委員会 | 平成 9 年 8 月30日 平成10年 3 月14日 |
| 3. 合併症対策委員会 | |
| 4. 腎移植普及推進委員会 | 平成 9 年 11月20日 |
| 5. 腎不全予防医学調査研究委員会 | |
| 6. 研修委員会 | 平成 9 年 8 月22日 平成10年 2 月22日 |
| 7. 広報委員会 | 平成 9 年 10月11日 平成10年 2 月21日 |
| 8. 情報管理委員会 | |
| 9. 内規委員会 | |

平成9年度委員会報告

1. 適正透析療法委員会

(1) 適正透析導入委員会

透析導入者審査委員会設置支部（新潟・栃木・愛知）に助成した。

(2) 維持透析療法委員会

（平成9年度2回開催）

「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」（平成7年改訂）の見直しについて、分析・検討が上記2回にわたって、精力的になされた。

その検討結果に基づき、平成10年改訂マニュアルが作成された。

マニュアルについては、平成10年3月24日発行の日本透析医会雑誌（別冊）に報告した。

(3) 適正透析普及委員会

（平成10年3月理事会と共同開催）

1) 平成10年度診療報酬改定に関する説明会を開催した。

日 時：平成10年3月20日(金)

午後1時30分～午後4時

場 所：(社)日本透析医会事務局会議室

(3階)

講 師：厚生省保険局医療課医療指導監査室
厚生技官 山 本 要

2) 平成10年度診療報酬改定に関する諸問題について討議された。

(4) 透析医療経済委員会

（平成9年度19回開催）

1) 中医協の診療報酬基本問題小委員会が、平成9年10月24日(金)午後3時から開催され、平澤会長は基本問題小委員会のヒアリングに指名され、ダイアライザー関係についての意見聴取が行われた。

（出席者：平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事）

この内容及び透析関連改定事項については、平成10年3月20日発行の日本透析医会ニュース（号外）に報告した。

2) 平成10年度の診療報酬改定に対する医会としての対応について、分析・検討が精力的になされ、厚生省に「要望書」を提出するとともに、厚生省幹部に対し、透析医療の現状を説明した。

「要望書」は会務報告どおり関係者に提出した。

3) 「透析医療費に対する提案書」を厚生省に提出した。

4) 平成10年度診療報酬改定に関する勉強会を開催した。

日 時：平成9年12月2日(火)

午後6時～午後8時

場 所：(社)日本透析医会事務局会議室

(3階)

講 師：厚生省保険局医療課
企画官 西山 正徳

2. 災害時救急透析医療委員会

（平成9年度2回開催）

(1) 災害時患者登録の中止に伴う今後の対策として

1) 中核病院を中心とした支援システムの実現化

2) 情報収集および支援活動を主とするシステム

3) コンピュータの廃棄

4) 今後の施設登録

等について検討した。

(2) 災害時用のインターネットホームページの開設について検討した。

このことについては、平成9年9月20日発行（Vol.13 No.1 27号）の日本透析医会雑誌に報告した。

4. 腎移植普及推進委員会

(平成9年度1回開催)

- (1) 平成9年度腎移植推進月間及び第12回腎移植推進国民大会の助成を検討した。
- (2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。

6. 研修委員会

(平成9年度2回開催)

- (1) 学術研究に助成した。
 - 1) 和歌山県透析医会
研究標題：「和歌山県下における緊急血液浄化法診療ネットワーク作成について」
 - 2) 広島県透析連絡協議会
研究標題：「ヒト培養腹膜中皮細胞における Connexin 発現に関する検討」
- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

| 支部名 | 会 場 | 開催年月日 |
|-----|----------------------|------------|
| 青森県 | ふるさと交流圏民センター「オルテンシア」 | 平成9年6月1日 |
| 宮城県 | 斎藤報恩会館 | 平成9年11月30日 |
| 岐阜県 | 岐阜県医師会館 | 平成9年11月16日 |
| 愛知県 | 名古屋国際ホテル | 平成9年11月30日 |
| 広島県 | ホテルサンルート広島 | 平成10年3月14日 |
| 香川県 | サンメッセ香川 | 平成9年6月29日 |
| 高知県 | 山内会館 | 平成9年10月12日 |
| 熊本県 | 済生会熊本病院大ホール | 平成9年5月25日 |

- (3) (社)日本透析医会創立10周年記念シンポジウムを開催した。

21世紀への提言

— 長期生存とQOL —

日 時：平成9年11月16日(日)

シンポジウム

午後1時～午後4時

記念パーティー

午後4時30分～午後6時30分

場 所：全共連ビル 本館大会議室

座 長：平澤 由平〔(社)日本透析医会会長〕

山崎 親雄〔(社)日本透析医会常務理事〕

講演者：鈴木正司（信楽園病院）ほか5名

出席者：約200名

- (4) (社)日本透析医会研修セミナーを開催した。

— 透析医療における Current Topics '98 —

日 時：平成10年2月22日(日)

午前10時～午後4時

場 所：津田ホール

司 会：阿岸鉄三（東京女子医科大学）

ほか4名

講演者：大平整爾（日鋼記念病院）

ほか4名

出席者：約150名

7. 広報委員会

(平成9年度2回開催)

- (1) 日本透析医会雑誌の企画・編集等について、上記2回にわたって、討議された。
- (2) 臓器移植法の成立にともなう特集、透析医療機関（千葉県）の感染性廃棄物処理の現状に関するアンケート調査結果、「アポE多型性が血液透析患者の脂質代謝動態に及ぼす役割について」の学術報告、研修セミナーなどによる Vol.13 No.1 (27号)。

医療保険制度を巡る諸問題（一エコノミストの視点）、愛知県方式による透析審査会に関する報告、大阪府下慢性不全患者の実態調査（平成8年度）の学術報告、岡山県透析医部会紹介などによる Vol.13 No.2 1998。別冊として「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル（平成10年改訂）を発売し、全会員及び関係機関に送付した。

Ⅲ. 会務報告

9. 4. 12 平成8年度会計監査実施。
9. 5. 7 透析保険審査に関する懇談会の開催通知発送した。
(支部長及び医会腎移植 N.W 社員あて)
9. 5. 9 厚生省保健医療局疾病対策課あて「公益法人の職員調査」提出。
9. 5. 15 全腎協全国大会(1997年度)に会長名で祝電発信。
9. 5. 23 厚生省保健医療局疾病対策課に通常総会等報告。
9. 6. 16 透析保険審査に関するアンケート調査を依頼した。
9. 6. 25 理事変更登記について申請(東京法務局)
9. 6. 30 上記登記簿謄本受領。
9. 6. 30 厚生大臣あて平成8年度事業報告及び収支決算並びに平成9年度事業計画及び予算等提出。
9. 7. 1 厚生省保健医療局の内部組織の再編成が行われ、疾病対策課からエイズ疾病対策課となり、当法人の所管課も、新しいエイズ疾病対策課となった。
9. 7. 1 厚生大臣あて「特定公益増進法人」であることの証明申請書提出。
9. 7. 8 透析医療費の実態調査を依頼した。(15診療所、14病院、4,799名)
9. 7. 18 透析保険審査に関する懇談会開催。(札幌市・ロイトン札幌20階パールホールA、B)
9. 8. 6 全腎協主催講演会の後援名義使用許可書提出。
9. 8. 12 厚生事務次官あて平成9年度腎移植推進月間の主催及び第12回腎移植推進国民大会の後援についての承諾書提出。
9. 8. 12 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課臓器移植対策室長あて腎不全対策推進功労者の推薦について報告。
9. 8. 29 厚生大臣から「特定公益増進法人」であることの証明書受領。
9. 9. 9 透析医療費の実態調査結果の検討会の開催通知発送。
9. 9. 20 上記検討会を開催。
9. 9. 30 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課あて「公益法人要覧'97」提出。
9. 10. 7 地域災害対策に関するアンケート調査実施
9. 10. 12 第12回腎移植推進国民大会開催(盛岡市)
(飯田副会長出席)
9. 10. 14 鈴木正司先生の御母堂葬儀に会長名及び理事一同で供花。
9. 10. 17 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課あて「平成9年公益法人概況調査票及び現職公務員が役員に就任している状況」提出。
9. 10. 24 中医協の診療報酬基本問題小委員会のヒアリングに平澤会長が指名され意見聴取が行われた。
「ダイアラライザーの現状と価格に関する意見」に関する意見書を基本問題小委員会に提出した。
(平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事出席)
9. 11. 4 上記基本問題小委員会あて「特定治療材料(ダイアラライザー)に関する補足説明について」提出。
(鈴木専務理事、山崎常務理事、持参説明)
9. 11. 16 (社)日本透析医会創立10周年記念シンポジウム「21世紀への提言ー長期生存とQOLー」開催(東京都)。

9. 12. 2 平成10年度診療報酬改定に関する勉強会を開催。
講師 厚生省保険局医療課
企画官 西山 正徳
9. 12. 4 全腎協主催シンポジウムの後援名義使用許可書提出。
10. 1. 13 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課中谷課長に診療報酬改定についての「要望書」提出（別紙）。
（平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事、山崎常務理事、持参説明）
10. 1. 14 日本医師会（坪井会長、糸氏英吉副会長）に診療報酬改定についての「要望書」提出（別紙）。
（平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事、山崎常務理事、持参説明）
10. 1. 23 厚生省保険局医療課今田課長に診療報酬改定についての「要望書」提出（別紙）。
（平澤会長、鈴木専務理事、吉田常務理事、山崎常務理事、持参説明）
10. 1. 26 厚生省大臣官房（医療保険担当）大塚審議官に診療報酬改定についての「要望書」提出（別紙）。
（鈴木専務理事、吉田常務理事、山崎常務理事、松田理事、持参説明）
10. 2. 22 (社)日本透析医会研修セミナーを開催（東京都）
—透析医療における Current Topics '98—
10. 2. 23 厚生省保険局医療課長あて「診療報酬改定に関する説明会」の講師派遣の依頼。
10. 3. 2 平成10年度診療報酬改定に関する説明会の開催について通知。
（理事及び支部長あて）
10. 3. 20 上記説明会を開催した。
講師 厚生省保険局医療課医療指導監査室
厚生技官 山本 要
10. 3. 25 全腎協全国大会（1998年度）の後援名義使用許可書提出。

(別紙参考)

平成10年1月26日

厚生省大臣官房
審議官 大塚 義治 殿

社団法人 日本透析医会
会 長 平 澤 由 平

要 望 書

日頃より、当会の活動に対し格別なご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

当会の基盤である透析医療は医療費増大の一因でありダイアライザーの価格にこそ問題があるとして、去る10月24日の中央社会保険医療協議会診療報酬基本問題小委員会で聴聞を受けました。当会は、この問題を従前から厳しく認識し、物と技術の分離について要望を重ねております。

腎不全対策は、予防、適正透析療法、腎移植が三位一体と考えられます。生活習慣病からの透析医療への導入患者増に対する予防措置こそが必須であり、透析医療の前段階で、患者の自助・自立を啓発し腎不全への予防を徹底するべきです。また、腎移植の増加も透析医療費を減少させるものであり、当会は臓器移植法の施行に伴う腎臓移植の普及を切願するものであります。

一方、適正透析療法については、平成4年の検体検査の部分包括化や同6年の外来診療報酬の部分包括化以降、当会は「適正な透析」の提供に鋭意努力して参りました。当会は、更に、ムダの排除と効率化に努めます。しかし、適正透析療法の質の低下には断固として反対いたします。

以上の認識に深い理解をお願いするとともに、平成10年度の医療費改定に当たって、以下の事項に関して所要の改定を要望するものであります。

要 望 事 項

- 1) ダイアライザーの公定償還価格の見直し
- 2) 透析医療固有の部分包括の適正評価
- 3) 在宅透析療法の見直しとその整合
- 4) 透析入院部門における身障者加算の適正評価

以 上

2500 点に包括されない検査について

1. 定期的に必要な検査の点数と頻度

| | 点 数 | 頻 度 | 1ヶ月当りの点数 | |
|-----------|-----|------|----------|-------|
| H C V | 245 | 2回/年 | 40.8 | |
| 梅毒定性 | 29 | 1回/年 | 2.4 | |
| A T - Ⅲ | 140 | 4回/年 | 46.7 | |
| カルシトニン | 315 | 4回/年 | 105.0 | |
| V t . D 3 | 450 | 4回/年 | 150.0 | |
| レニン | 210 | } | | |
| アンギオテンシン | 320 | | 2回/年 | 138.3 |
| アルドステロン | 300 | | | |
| H A N P | 500 | 4回/年 | 166.7 | |
| 便ヒトH b | 60 | 4回/年 | 20.0 | |
| | | | 669.9 | |

2. 特定な患者に必要な検査

HBe-Ag・Ab HBc-Ab DNA ポリメラーゼ
HIV HCV グルーピング HCV-RNA
トロンボテスト

フルクトサミン グリコアルブミン 1.5AG
C-ペプチド
オステオカルシン AL-P 分画
エリスロポエチン など

平成9年度収支決算書

1. 収支計算書（平成9年4月1日から平成10年3月31日まで）

（単位：円）

| 科 目 | 平成9年(案) | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|-----------------|--------------|-------------|--------------|-----|
| I 収入の部 | | | | |
| 1. 会 費 収 入 | 72,000,000 | 72,244,000 | 244,000 | |
| 2. 入 会 金 収 入 | 700,000 | 180,000 | △ 520,000 | |
| 3. 寄 付 金 収 入 | | | | |
| 助成協賛金 | 100,000,000 | 66,550,000 | △ 33,450,000 | |
| 寄付金 | | 4,600,000 | 4,600,000 | |
| 寄付金収入合計 | 100,000,000 | 71,150,000 | △ 28,850,000 | |
| 4. 受取利息収入 | 800,000 | 1,380,562 | 580,562 | |
| 5. 会 場 収 入 | | 96,000 | 96,000 | |
| 6. 雑 収 入 | | 42,780 | 42,780 | |
| 当期収入合計(A) | 173,500,000 | 145,093,342 | △ 28,406,658 | |
| 前期繰越収入差額 | 43,000,000 | 43,422,228 | 422,228 | |
| 収入合計(B) | 216,500,000 | 188,515,570 | △ 27,984,430 | |
| II 支出の部 | | | | |
| 1. 事 業 費 | | | | |
| 透析医療適正化事業費 | 7,900,000 | 6,764,127 | △ 1,135,873 | |
| 地域透析医療システム事業費 | 24,600,000 | 12,844,226 | △ 11,755,774 | |
| 腎移植普及推進事業費 | 6,000,000 | 5,325,951 | △ 674,049 | |
| 腎不全予防医学調査研究費 | 700,000 | 0 | △ 700,000 | |
| 研修等事業費 | 10,000,000 | 9,894,023 | △ 105,977 | |
| 広報活動費 | 10,000,000 | 4,981,325 | △ 5,018,675 | |
| その他の事業 | 96,800,000 | 66,596,500 | △ 30,203,500 | |
| 事業費合計 | 156,000,000 | 106,406,152 | △ 49,593,848 | |
| 2. 管 理 費 | | | | |
| 人 件 費 | 19,000,000 | 15,813,490 | △ 3,186,510 | |
| 家 賃 | 11,000,000 | 10,673,154 | △ 326,846 | |
| そ の 他 経 費 | 13,115,000 | 10,894,923 | △ 2,220,077 | |
| 管理費合計 | 43,115,000 | 37,381,567 | △ 5,733,433 | |
| 3. 固定資産取得支出 | | | | |
| 什器備品購入支出 | 1,000,000 | 845,250 | △ 154,750 | |
| 固定資産取得支出合計 | 1,000,000 | 845,250 | △ 154,750 | |
| 4. 予 備 費 | 5,000,000 | 0 | △ 5,000,000 | |
| 基本財産組入額 | 0 | 0 | | |
| 当期支出合計(C) | 205,115,000 | 144,632,969 | △ 60,482,031 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 31,615,000 | 460,373 | 32,075,373 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 11,385,000 | 43,882,601 | 32,497,601 | |

2. 正味財産増減計算書（平成9年4月1日から平成10年3月31日まで）

（単位：円）

| 科 目 | 金 額 | | |
|----------------|------------|------------|-------------|
| I 増加の部 | | | |
| 1. 資産増加額 | | | |
| 当期収支差額 | 460,373 | | |
| 什器備品購入額 | 845,250 | | |
| 資産増加額 | | 1,305,623 | |
| 増加の部の合計 | | | 1,305,623 |
| II 減少の部 | | | |
| 1. 資産減少額 | | | |
| 什器備品除去額 | 1,200,298 | | |
| 災害時システム除去額 | 11,461,600 | | |
| 建物附属設備減価償却額 | 10,324 | | |
| 災害時システム設備減価償却額 | 87,725 | | |
| 什器備品減価償却額 | 1,406,889 | | |
| 資産減少額 | | 14,166,836 | |
| 2. 負債増加額 | | | |
| 退職給与引当金繰入額 | 546,320 | | |
| 負債増加額 | | 546,320 | |
| 減少の部の合計 | | | 14,713,156 |
| 当期正味財産減少額 | | | 13,407,533 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 301,677,530 |
| 期末正味財産合計額 | | | 288,269,997 |

3. 貸借対照表（平成10年3月31日現在）

（単位：円）

| 科 目 | 金 額 | | |
|---------------|-------------|-------------|---------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 44,268,525 | | |
| 仮払金 | 36,000 | | |
| 流動資産合計 | | 44,304,525 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 232,000,000 | | |
| 基本財産合計 | 232,000,000 | | |
| その他の固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 62,380 | | |
| 災害時システム設備 | 187,274 | | |
| 什器備品 | 3,115,370 | | |
| 電話加入権 | 563,372 | | |
| 淡路建物ビル保証金 | 11,300,000 | | |
| 警備保証金 | 50,000 | | |
| その他の固定資産合計 | 15,278,396 | | |
| 固定資産合計 | | 247,278,396 | |
| 資産合計 | | | 291,582,921 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 会費預り金 | 230,000 | | |
| 所得税預り金 | 134,751 | | |
| 住民税預り金 | 43,900 | | |
| 雇用保険預り金 | 13,273 | | |
| 流動負債合計 | | 421,924 | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給与引当金 | 2,891,000 | | |
| 固定負債合計 | | 2,891,000 | |
| 負債合計 | | | 3,312,924 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | 288,269,997 |
| （うち基本金） | | | (232,000,000) |
| （うち当期正味財産減少額） | | | (13,407,533) |
| 正味財産の部の合計 | | | 288,269,997 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 291,582,921 |

4. 計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------|-------------|-------|-------|-------------|
| 定期預金 | 232,000,000 | 0 | 0 | 232,000,000 |
| 合計(基本金) | 232,000,000 | 0 | 0 | 232,000,000 |

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 |
|----------|------------|
| 現金預金 | 44,268,525 |
| 仮払金 | 36,000 |
| 合 計 | 44,304,525 |
| 会費預り金 | 230,000 |
| 所得税預り金 | 134,751 |
| 住民税預り金 | 43,900 |
| 雇用保険預り金 | 13,273 |
| 合 計 | 421,924 |
| 次期繰越収支差額 | 43,882,601 |

4. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 取得価格 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 建物附属設備 | 322,907 | 260,527 | 62,380 |
| 災害時システム | 337,870 | 150,596 | 187,274 |
| 什器備品 | 6,420,614 | 3,305,244 | 3,115,370 |
| 合 計 | 7,081,391 | 3,716,367 | 3,365,024 |

5. 財産目録（平成10年3月31日現在）

（単位：円） No.1

| 科 目 | 金 | 額 |
|-----------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 現金 現金手許有高 | 40,393 | |
| 郵便振替 | 121,839 | |
| 普通預金 東京三菱銀行神田支店 | 3,651,866 | |
| 住友銀行神田支店 | 235,978 | |
| 第一勧業銀行神田支店 | 62,637 | |
| さくら銀行神田支店 | 114,444 | |
| あさひ銀行神田支店 | 461,773 | |
| あさひ銀行神田支店 | 2,579,595 | |
| 定期預金 東京三菱銀行神田支店 | 37,000,000 | |
| 仮払金 | 36,000 | |
| 流動資産合計 | | 44,304,525 |
| 2. 固定資産 | | |
| (1) 基本財産 | | |
| 定期預金 東京三菱銀行神田支店 | 232,000,000 | |
| (2) その他の固定資産 | | |
| 建物附属設備 | | |
| 間仕切工事 | 62,380 | |
| 什器備品 | | |
| ゼロックスコピー | 611,327 | |
| OASYS 70DP ワープロ | 261,635 | |
| 会員プログラムソフト | 993,153 | |
| パワフル会計公益 | 189,710 | |
| COMPAQ 一式 | 283,556 | |
| 会員プログラムソフト | 775,989 | |
| 災害時システム設備 | | |
| IBMパソコン | 187,274 | |
| 電話加入権 | 563,372 | |
| 保証金 淡路建物ビル保証金 | 11,300,000 | |
| 警備保証金 | 50,000 | |
| その他固定資産合計 | 15,278,396 | |
| 固定資産の合計 | | 247,278,396 |
| 資産合計 | | 291,582,921 |

(単位：円) No.2

| 科 目 | 金 額 | | |
|------------------|-----------|-----------|-------------|
| Ⅱ 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 預り金 年会費 | 230,000 | | |
| 預り金 職員等に対する源泉所得税 | 134,751 | | |
| 預り金 職員等に対する住民税 | 43,900 | | |
| 預り金 職員等に対する雇用保険 | 13,273 | | |
| 流動負債合計 | | 421,924 | |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給与引当金 | 2,891,000 | | |
| 固定負債合計 | | 2,891,000 | |
| 負債合計 | | | 3,312,924 |
| 正味財産 | | | 288,269,997 |

管理費内訳

| | |
|---------|------------|
| 給 料 | 13,893,380 |
| 法定福利費 | 1,484,640 |
| 通 勤 費 | 435,470 |
| 旅費交通費 | 204,990 |
| 会 議 費 | 30,904 |
| 交際接待費 | 5,565 |
| 福利厚生費 | 116,860 |
| 印刷製本費 | 246,130 |
| 通信運搬費 | 1,008,478 |
| 消 耗 品 費 | 563,763 |
| 委 託 費 | 3,800,362 |
| 報酬(要源泉) | 666,666 |
| 水道光熱費 | 672,923 |
| 家 賃 | 10,673,154 |
| 諸 会 費 | 313,167 |
| 租 税 公 課 | 73,000 |
| テープリライト | 21,000 |
| 慶 弔 費 | 51,500 |
| 雑 費 | 261,136 |
| 常任理事会費 | 1,868,847 |
| 総会・理事会費 | 989,632 |
| 合 計 | 37,381,567 |


監 査 報 告 書

社団法人日本透析医会の平成9年度決算報告につき慎重に監査した結果妥当なものと認めます。

平成10年4月11日

社団法人 日本透析医会

監 事 高 宮 治 生 

監 事 大 森 均 

社団法人 日本透析医会

会 長 平 澤 由 平 殿

第2号議案 平成10年度事業計画書(案)

事業計画の概要

1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

- ① 適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会

- * 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

- (1) 適正透析導入委員会
適正な導入時期に関する調査研究
 - (2) 維持透析療法委員会
適正な維持透析療法に関する調査研究
 - (3) 適正透析普及委員会
同上の療法の普及推進を行う
 - (4) 透析医療経済委員会
適正な透析医療経済に関する調査研究
 - 1) レセプト分析
 - 2) 再使用調査検討
 - 3) 各国透析医療費の比較調査
 - 4) 施設基準の検討
 - (5) 医療廃棄物対策委員会
医療廃棄物対策に関する調査研究
 - (6) 在宅透析委員会
在宅治療の(CAPD・家庭透析等)の適応基準の調査・研究
- ② 会員の教育・指導及び倫理向上に関する調査・研究

倫理委員会

- * 会員の倫理向上に関する調査・研究

2. 地域透析医療システムに関する調査・研究

- * 透析施設間の相互連携による地域透析医

療システムを確立するための調査・研究

- ① 災害時に於ける救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

災害時救急透析医療委員会

- 1) 施設登録の調査、入力及び検証に関する事業
 - 2) ブロック別災害時救急透析医療システムの構築
 - 3) インターネット(ホームページ)の開設
- ② 長期透析患者の合併症に対する調査研究

合併症対策委員会

- 1) 透析導入の初発原因(原疾患・病因等)に関する調査・研究
- 2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- 3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

- * 会員および患者に対しての協力・普及を目的とする。
- 1) 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業
 - 2) 会員に対する腎移植の啓発・教育事業(脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等)
 - 3) 患者に対する腎移植推進事業(会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業)
 - 4) 関係団体への協力事業(医療施設や遺族に対するドネーションの啓発)

5) 腎移植コーディネーター問題の研究

2) 学術研究への協力

3) 関係学会・団体との研究協力

4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

4) 国内講演会等の開催

腎不全予防医学調査研究委員会

* 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業

- 1) 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業
- 2) 関係団体への協力事業

6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

広報委員会

① 機関誌等の発行

- 1) 雑誌 1,500部 (年4回発行)
- 2) 医会ニュース 1,200部

5. 研修等事業

研修委員会

- 1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催

7. その他の事業

情報管理委員会

* 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

社団法人日本透析医会

平成10年度予算(案)

〔収入の部〕

(単位：円)

| 区 分 | 平成9年度予算 | 平成10年度予算(案) | 増 減 |
|-----------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 会費収入 | 72,000,000 | 71,000,000 | △ 1,000,000 |
| 2. 受取利息 | 800,000 | 1,000,000 | 200,000 |
| 3. 入会金収入 | 700,000 | 200,000 | △ 500,000 |
| 4. 前年度繰越金 | 43,000,000 | 43,000,000 | 0 |
| 5. 寄附金収入 | 100,000,000 | 20,000,000 | △ 80,000,000 |
| 6. 雑収入 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 216,500,000 | 135,200,000 | △ 81,300,000 |

〔支出の部〕

| 区 分 | 平成9年度予算 | 平成10年度予算(案) | 増 減 |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 事業費 | 156,000,000 | 90,245,000 | △ 65,755,000 |
| 2. 管理費 | 43,115,000 | 23,954,000 | △ 19,161,000 |
| 3. 予備費 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| 4. 次年度繰越金 | 11,385,000 | 16,001,000 | 4,616,000 |
| 5. 固定資産取得支出 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 |
| 計 | 216,500,000 | 135,200,000 | △ 81,300,000 |

| 区 分 | 平成9年度予算 | 平成10年度予算(案) | 増 減 |
|--------|-------------|-------------|-----|
| 基本財産累計 | 232,000,000 | 232,000,000 | 0 |

支出の部内訳

(単位：円)

| 区 分 | 平成9年度予算 | 平成10年度予算(案) | 増 減 |
|--------------------|--------------|--------------|----------------|
| I. 事業費 (調査研究事業費) | 156,000,000 | 90,245,000 | △ 65,755,000 |
| (1) 透析医療の適正化 | 7,900,000 | 13,145,000 | 5,245,000 |
| (1) 適正透析導入委員会 | (1,750,000) | (2,168,000) | (418,000) |
| (2) 維持透析療法委員会 | (1,300,000) | (1,613,000) | (313,000) |
| (3) 適正透析普及委員会 | (2,300,000) | (2,858,000) | (558,000) |
| (4) 透析医療経済委員会 | (1,200,000) | (4,842,000) | (3,642,000) |
| (5) 医療廃棄物対策委員会 | (900,000) | (1,109,000) | (209,000) |
| (6) 在宅透析委員会 | (450,000) | (555,000) | (105,000) |
| (2) 地域透析医療システム | 24,600,000 | 16,308,000 | △ 8,292,000 |
| (1) 災害時救急透析医療委員会 | (18,700,000) | (12,341,000) | (△ 6,359,000) |
| (2) 合併症対策委員会 | (5,900,000) | (3,967,000) | (△ 1,933,000) |
| (3) 腎移植普及推進 | 6,000,000 | 9,043,000 | 3,043,000 |
| (4) 腎不全予防医学の調査研究費 | 700,000 | 1,059,000 | 359,000 |
| (5) 研修等事業費 | 10,000,000 | 12,614,000 | 2,614,000 |
| (6) 広報活動費 | 10,000,000 | 12,387,000 | 2,387,000 |
| (7) その他の事業 | 96,800,000 | 25,689,000 | △ 71,111,000 |
| (1) 情報管理委員会 | (1,200,000) | (857,000) | (△ 343,000) |
| (2) 内規委員会 | (600,000) | (40,000) | (△ 560,000) |
| (3) 学会助成費 | (90,000,000) | (24,792,000) | (△ 65,208,000) |
| (4) シンポジウム(10周年記念) | (5,000,000) | (0) | (△ 5,000,000) |
| II. 管理費 | 43,115,000 | 23,954,000 | △ 19,161,000 |
| (1) 人件費 | 19,000,000 | 9,500,000 | △ 9,500,000 |
| (2) 家賃 | 11,000,000 | 5,500,000 | △ 5,500,000 |
| (3) その他の経費 | 13,115,000 | 8,954,000 | △ 4,161,000 |
| III. 予備費 | 5,000,000 | 5,000,000 | 0 |
| IV. 次年度繰越金 | 11,385,000 | 16,001,000 | 4,616,000 |
| V. 固定資産取得支出 | 1,000,000 | 0 | △ 1,000,000 |
| 計 | 216,500,000 | 135,200,000 | △ 81,300,000 |

社団法人 日本透析医会 役員名簿

| 役 職 名 | 氏 名 | 現 職 |
|---------------|-----------|-----------------------|
| 名 誉 会 長 | 稲 生 綱 政 | 医療法人大坪会 東和病院 院長 |
| 会 長 (甲信越) | 平 澤 由 平 | 社会福祉法人 信楽園病院 顧問 |
| 副 会 長 (北海道) | 今 忠 正 | 札幌北クリニック 院長 |
| 〃 (関 西) | 飯 田 喜 俊 | 淀川キリスト教病院 教育顧問 |
| 専 務 理 事 (関 東) | 鈴 木 満 | 医療法人松園会 理事長 |
| 常 務 理 事 (関 東) | 吉 田 豊 彦 | 医療法人誠仁会 理事長 |
| 〃 (中 部) | 山 崎 親 雄 | 医療法人衆済会 増子記念病院 院長 |
| 〃 (関 西) | 井 上 隆 | 医療法人蒼龍会 理事長 |
| 理 事 | 太 田 和 夫 | 太田医学研究所 所長 |
| | 山 下 眞 臣 | 社会福祉法人 恩賜財団済生会 理事長 |
| | 小 出 桂 三 | 社会保険都南総合病院 院長 |
| | 石 丸 隆 治 | (財)ヒューマンサイエンス振興財団 理事長 |
| | 前 田 憲 志 | 名古屋大学医学部 教授 |
| | 藤 見 惺 | 福岡赤十字病院 副院長 |
| | 松 田 鈴 夫 | 国際医療福祉大学 教授 |
| | 秋 葉 隆 | 東京医科歯科大学 講師 |
| (北海道) | 廣 田 紀 昭 | 廣田医院 院長 |
| (東 北) | 関 野 宏 | 医療法人宏人会 理事長 |
| (東 北) | 村 上 秀 一 | 医療法人三良会 村上新町病院 院長 |
| (関 東) | 奥 田 健 二 | 医療法人開生会 奥田クリニック 院長 |
| (甲信越) | 土 屋 隆 | 医療法人輝山会 理事長 |
| (中 部) | 指 出 昌 秀 | 医療法人一秀会 理事長 |
| (関 西) | 後 藤 武 男 | 高砂市民病院 院長 |
| (関 西) | 小 野 利 彦 | 医療法人桃仁会 理事長 |
| (中 国) | 土 谷 晋 一 郎 | 医療法人あかね会 理事長 |
| (中 国) | 高 杉 敬 久 | 博愛病院 院長 |
| (四 国) | 寺 尾 尚 民 | 医療法人尚腎会 理事長 |
| (九 州) | 後 藤 宏 一 郎 | 後藤クリニック 院長 |
| (九 州) | 工 藤 寛 昭 | 工藤医院 院長 |
| (九 州) | 牧 角 仙 丞 | 医療法人聖医会 理事長 |
| 監 事 (甲信越) | 大 森 伯 | 大森内科医院 院長 |
| (関 東) | 高 宮 治 生 | 栃木県厚生連 下都賀総合病院 名誉院長 |